

式辞

大分県立久住高原農業高等学校として、最初に卒業される生徒の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

保護者の皆さまもご子息の成長を前にし、感慨がより深くこみあげてくるものと存じます。3年間の温かい見守りとご協力に感謝いたしますと共に誠におめでとうございます。

また、ご来賓の皆様には、ご臨席をいただき、大分県立久住高原農業高等学校の卒業式がこのように盛大に挙行できますことに厚く感謝申し上げます。

さて、卒業生の皆さんが入学した当時、学校がこのような形で大きく変化していこうとは思っていませんでした。皆さんが、1年生の時に、校舎の大規模改修が始まり、2年生の時には、学校はきれいに環境整備をされ、3年生になった時には、厳しい施設環境の学生寮の生活から真新しい寮生活となりまたした。この3年間は皆さんは、満足のいく高校生活を送れたでしょうか。

各自一人ひとりがこの久住高原農業高校で過ごした3年間で振り返って見てください。卒業生全員、全てが満足できるものであったとは思いますが、皆さんが過ごした3年間の中に、一人ひとりの答えがあるはず。何か1つでも皆さん全員に、貴重な財産があるはず。その一つを大切に持ち続けていってください。

常々、皆さんには、言ってきた言葉がありますが、覚えていますか。「あたり前の事をしっかりやろう。そして、自分の夢を語って、自分の夢を創って、その夢を実現しよう」と。どうでしたか。この3年間で実現できましたか。もしこれからだという人がいれば、その夢の実現のために努力をしてください。また、自分の目標とする夢の実現ができた人は、新たな夢を創りその夢に向かって挑戦していってください。そして、この久住の大自然に囲まれた自愛のある地域で学習し、素晴らしい教育環境の久住高原農業高校で学んだ皆さんは、「小さな一歩を踏み出す力」を身につけていることに気づいてください。もし、今は気がつかない人がいても、年をとり振り返る頃が来た時に感じることを確信しています。

さて、これからそれぞれの新しい道を進む卒業生の皆さんに2つの事をお願いしたい。1つ目は、素直な心と感謝の気持ちを忘れずにずっと持ち続けてください。世の中は、いろいろな人の関りから成り立っています。その時に、多様な人の意見を聴くことや思ってもみない人から助けられることなど様々な出来事があります。その時、その瞬間に、素直な心をもって考え、答えを出していってください。そして、感謝する心を持ってください。

2つ目は、ゆっくりでもよいからしっかりと大地に足を下ろし、大きな土台を創りながら前に進んでください。自分の可能性を信じて前に進んでいく心を持ち続けてください。人生100年といわれ始めています。その自分の人生の可能性を信じ、常に前に進む勇気をもって生きてほしいのです。

今社会は、大きな変化をゆっくりと、大きな波として、あなたたちの目の前にきています。その変化を感じながら、あなたたちの人生を生きていかなければなりません。これからいろいろな世界に旅立つ卒業生の皆さんは、大きな変化をしつつある社会へ飛び込んでいくわけです。そして、新たな展開として、君たちが入学したほぼ同時期の、2016年から国連加盟の世界各国が、「持続可能な開発目標」、つまり、地球環境や自然環境が適切に保全され、将来の世代が必要とするものを損なうことなく、現在の世代の要求を満たすような開発が行われている社会を目指すため、今後2030年の15年間で達成する「持続可能な開発目標」として、17の目標を掲げました。その中には、君たちが久住高原農業高校で3年間学んできた農業教育の実践の中に数多く含まれていたことをあらためて理解して、久住高原農業高校で学んだことに誇りをもってほしいと思います。

将来、久住高原農業高校で学んだことがきっと役に立つことがあると思います。地域に目を向けて、自分の足元をしっかりと固め、地道に努力をしていながら、今社会が求めようとしている持続可能なグローバルな社会へ堂々と足を踏み入れて活躍していかれることを願い、卒業生の皆さんの限りない前途を祝福し、幸多かれと祈念して式辞といたします。

令和2年3月2日

大分県立久住高原農業高等学校

校長 小俣 秀之